

JFA 第27回全日本フットサル選手権大会 大阪大会

大会実施要項

記

大会名称	JFA 第27回全日本フットサル選手権大会 大阪大会
日 程	9月11日(土) 9月23日(木祝) 10月16日(土) 11月3日(水祝) 14日(日) 20日(土) 27日(土) 12月5日(日) 11日(土) 12日(日)
会 場	大阪府下各施設にて開催
主 催	公益財団法人 日本サッカー協会
主 管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 フットサル委員会
協 力	一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟
参加資格	(1)公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。 JFA に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。 (2)第1項のチームに所属する2006年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。 (3)外国籍選手は1チームあたり3名までとする。 (4)都道府県大会、地域大会を通して、選手、役員は他のチームで参加していないこと。 (5)成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 (6)チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。 (7)主催者および会場施設が指定する感染症対策について、チームで責任をもって遵守し、管理できること(『OFA フットサル競技会コロナ対策ガイドライン』に依る。また、感染症対策に関する同意書兼誓約書に署名のうえ提出し、遵守すること)
参加チーム数	40チーム
大会形式	40チームによるノックアウト方式で行う。前年度ベスト4の4チームは3回戦からとする。なお、3位決定戦は行わない。

競技規則 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

(1) 競技者の数… 競技者: 5 名

交代要員: 1 回戦・2 回戦 … 7 名以内

3 回戦以降 … 9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 … 2 名以内

(2) ベンチ入りできるチーム役員の数 … 3 名以内

(3) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。また、ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない(黒色・紺色は認められない)。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号は 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFA の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFA のユニフォーム規程(2021 年 3 月 11 日改正)に則る。

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、自チームの**競技者のシャツと異なる色**のビブスを用意し、着用しなければならない。また、広告の付いたビブスの着用は認めない。選手は試合ごとに特定されたビブスを各個人が着用する。なお、感染症対策により、チームは 2 色のビブスを併用して使用することができる。

試合時間

[1 回戦、2 回戦]

30 分間(前後半各 15 分間)のプレーイングタイムとし、

ハーフタイムのインターバルは 5 分間(前半終了から後半開始まで)とする。

[3 回戦～決勝]

40 分間(前後半各 20 分間)のプレーイングタイムとし、

ハーフタイムのインターバルは 10 分間(前半終了から後半開始まで)とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決まなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[1 回戦～準々決勝]

PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

[準決勝、決勝]

10 分間(前後半各 5 分間)の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、延長戦のハーフタイムは無しとする。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の 1 試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。ただし、準々決勝で累積 2 枚目の警告を受けた選手は準決勝は出場できない。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 片方のチームが試合開始時に 3 人未満の場合は、0-3 の不戦敗とする。
- (6) 試合途中で片方のチームが 3 人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は 0-3、もしくは打ち切りとなった時点で 0-3 以上の点差がついていた場合はその結果とする。
- (7) 感染症対策を遵守できない、または繰り返し大会の運営に支障をきたすチームと(一社)大阪府サッカー協会フットサル委員会が判断した場合は、それまでの戦績を没収、棄権の取り扱いとし、次年度の本大会参加を認めない場合がある。

注意事項

- (1) 決勝戦を除く各日程、第 1 試合のチームは、8 時 45 分までに会場に到着し会場準備を行うこと。また、(決勝戦を含む)最終試合のチームは会場撤収を行うこと。
会場によっては先行入場できる場合があるため、詳細は別途連絡する。
- (2) キックオフ予定時刻の 60 分前、(各会場の第 1 試合は 45 分前)に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でマッチコーディネーションズミーティング(以下、MCM)を行う。その際、
① 選手証、② 試合毎のメンバー登録用紙(ユニフォーム欄のみ空白)、③ 正副のユニフォーム(FP、GK2 セットずつ、合計 4 種類)④ 試合で使用するピブスを持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFA から発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の 1 から 99 を使用し、0 は認めない。布貼りの場合は 4 辺を全て縫い付け、白またはユニフォームと同色の台地を付ける。当日試合前に大会本部で許可を得たもののみ認められる。テーピング等での番号表記は認められない。
- (5) 別紙スケジュールに従い、各チームは帯同審判員 1 名、ボールパーソン 2 名、記録員 1 名を派遣すること。審判員は原則ユース審判員は認められない。また、帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。※1 人の審判員を複数チームが帯同審判員として登録することは認められない。帯同審判員割当は、対戦表の左側のチームが第 3 審判、右側のチームがタイムキーパーとする。審判員証[電子登録証も可]を必ず持参すること。
- (6) 1~3 回戦で主審・第 2 審判を帯同審判員割当に変更する場合がある。その場合には、割り当てられるチームに試合 1 週間前までに事務局より通知する。

- (7) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと(観客席に置いておくこと)。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。
- (8) 試合前のエキップメントチェックに遅れた交代要員・役員は前半はベンチ入りすることができないが、ハーフタイムに審判員の確認を受ければ、後半からベンチに入ることができる。ただし、ハーフタイム終了の合図までに間に合わなかった場合には、後半もベンチ入りすることは認められない。
- (9) 感染症対策のため、ハーフタイムは次の試合のチームがピッチ内でアップすることを認めない。
- (10) クラブ申請している1種登録チームが、同一クラブ内の2種登録チーム所属選手を登録する場合を除き、選手証に記載されている所属チームと出場する参加チームは同一でなければならない。
- (11) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。
- (12) 当日提出するメンバー表は大会ホームページよりダウンロードを行い、各チームで持参してMCMにて提出すること。
- (13) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること、また体育館の使用規定に従うこと。各体育館の感染症対策に関する注意事項は、各チーム向けに開催1週間前までに事務局より通知する。

その他

- (1) 優勝チーム、準優勝チームは、関西大会(2022年1月10日(月祝):和歌山県立橋本体育館、1月23日(日):ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)、1月29日(土):YMITアリーナ(滋賀県))に出場する権利と義務を有する。優勝チームを第1代表とし、準優勝チームを第2代表とする。
- (2) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (3) 準決勝進出の4チームを次年度シードとし、シード枠での出場の権利を有する。
- (4) 試合に勝利したチーム(相手チームが棄権した場合も含む)については、試合毎に12,000円徴収する。大会敗退または全日程終了後、1週間以内に大会参加申込と同じ口座宛に振込にて徴収する。
- (5) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加および変更は関西大会終了まで原則認めない。
- (6) チーム関係者によるフロアでの写真および映像の撮影を認めない。
- (7) 映像撮影については自チームの分析目的以外での撮影は一切認めない。インターネット及びSNS等の配信についても一切認めない。
- (8) 本要項・ガイドラインに規定されていない不測の事態が発生した場合は、(一社)大阪府サッカー協会フットサル委員会が対応を決定する。

新型コロナウイルス[COVID-19]の感染対策に関する特記事項(コロナ対策ガイドラインより一部抜粋含む)

- (1) 本大会は、「OFA フットサル競技会コロナ対策ガイドライン(以下、「ガイドライン」と表記する)に基づいて開催する。
- (2) 感染拡大状況の変化等により、大会を中断・中止または実施要項の一部を変更する事がある。
- (3) 新型コロナウイルスの感染が収束していない中での開催につき、**全試合とも無観客試合**にて開催する。
- (4) 各チームの感染症対策責任者より当日参加選手・スタッフなどチームからの来場者全員分の健康チェックシートを、来場後に運営本部に提出し、確認を受けること。
- (5) チーム(選手・オフィシャル)、役員、審判員等の試合に参加する者がガイドラインに定める健康状態について問題がある場合は、当日の参加を認めず会場から退出すること。記入された健

- 康チェックシートの提示が無い場合も同様に会場への入館を認めない。また、症状が無くとも関係機関からPCR検査の受診要請されている場合も参加を認めない。
- (6)各チームへの感染防止策を含めた競技・会場運営については、事前に各チーム感染症対策責任者宛へ周知するので、チーム内への徹底を行うこと。
- (7)試合当日はベンチ入りする選手、役員を除き、**大会登録票に記載のある最大3名までが会場に来場することができる。**ただし、フロアでのアップなどには参加できず、会場では選手同様に必ずマスクを着用すること。
- (8)事前にガイドラインを確認し、チーム内で周知徹底のうえ参加すること。
- ① 参加者全員がマスクを持参し、試合中の選手・審判員を除き会場内では常に着用する。マスクを着用していない者は入館を認めない。
 - ② 試合終了後(第1試合は試合前にも)にフロアで試合に携わっていた全員が、各自で使用したベンチを消毒する。記録員はオフィシャル席の備品を、帯同審判員はタイムアウトカードや電子タイマーを、ボールパーソンはモップの柄も消毒する
 - ③ 消毒用品は主催者側にて用意されるが、使用後の消毒用品の廃棄は各自が持ち帰ること
 - ④ MCMにはチームからの参加は1名、審判員は主審のみ参加とし、全員がマスクを着用すること
 - ⑤ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
 - ⑥ 両チームベンチへの挨拶を実施しない
 - ⑦ 円陣はしない
 - ⑧ 倒れた選手に手を貸さない(けが人搬出の場合は例外)
 - ⑨ ハイタッチ、抱擁を行わない
 - ⑩ ボトルを共有しない
 - ⑪ ビブスやタオルを共有しない
 - ⑫ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
 - ⑬ **ベンチでは役員はマスクを着用し、大きな声での会話を控える。**また、交代要員も可能な限りマスクを着用する
 - ⑭ 交代要員が着用するビブスを各自特定する(登録メンバー全員分のビブスが必要)
 - ⑮ 各個人が着席するベンチを特定する
 - ⑯ 前後半でベンチの入れ替えは行わない
 - ⑰ 試合終了後は運営割当がある者を除き、速やかに会場から退出する
 - ⑱ 9月開催試合では、熱中症に対するケアも徹底する
- (9)万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会に参加したチーム、運営関係者は、返却後も最低1カ月を目安に各チームで保管すること。事前にガイドラインを確認し、チーム内で周知徹底のうえ参加すること
- (10)競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者は、自チーム関係者に具合の悪い選手・スタッフがいないか確認すること
- (11)競技会終了後14日以内に感染者発生が報告があった場合には、フットサル委員会の感染症対策責任者宛(ec@ofa-futsal.jp)に通知する

お問合せ先 (一社)大阪府サッカー協会 フットサル委員会大会事務局

メールアドレス:jimu@ofa-futsal.jp

※各種問い合わせはメールにてのみ受け付ける。

肖像権に関する取扱いについて

2021年2月5日 改定

一般社団法人大阪府サッカー協会（以下「OFA」という）は、OFAが主催する大会及びイベントに参加または関与する競技者、指導者、審判員その他の関係者の肖像権の取り扱いに関し、以下の通り対応するものとする。

1、肖像権に関する取り扱い

OFAが主催する大会及びイベントに参加または関与する競技者、指導者、審判員その他の関係者の肖像権は以下のとおり取り扱われるものとし、OFAは大会要項その他において以下の趣旨を記載して、周知するものとする。

(1) 写真

- ① OFAで撮影した写真が、大会運営、広報活動及び販促活動のため、ホームページ、広報誌及びSNS等で使用されることがある。
- ② OFAに認められた企業、団体及び報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。
- ③ OFAに認められた提携写真事業者によって撮影された写真が、「参加者向け写真販売サービス（ウェブサイトを通じた通信販売を含む）」で使用されることがある。

(2) 映像

- ① OFAで撮影した動画が、大会運営、広報活動及び販促活動のため、ホームページやSNS等で使用されることがある。
- ② OFAに認められた企業、団体及び報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 競技者及び指導者等の承諾

競技者、その保護者（親権者）及び指導者は、参加チームが大会等に参加申込をしエントリーをした時点で、上記（1）（2）の取り扱いにつき承諾したものとする。名目の如何に問わず一切の対価を請求しない。

(4) その他関係者の承諾

審判員、大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、OFAと大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者は、上記（1）（2）の取り扱いにつき承諾したものとする。名目の如何に問わず一切の対価を請求しない。

2、OFAの対応

OFAは上記1（1）（2）の目的以外には写真、映像を使用しないことを徹底し、厳正なる管理のもとに保管する。

以上